

## 不便の効用を活用したシステム論

# 不便の効用を活用する システムデザイン

Date/日時 平成27年2月27日（金） 16：20～17：30

Place/会場 TKPガーデンシティ東梅田「カンファレンスルーム」

Language/使用言語 日本語

---

Speaker/講演者

川上 浩司 氏

京都大学 デザイン学ユニット 教授

Abstract/概要

我々が不便益と呼ぶのは、効率化偏重によって見逃されていたが実は人間機械系としては大切であった事象である。これらを、一般には不便と呼ばれる物や方式から掘り起こし、新たなデザインの糧にする試みを紹介する。これは、便利追求以外のデザイン指針を探求する試みでもある。

Biography/経歴

1987年 京都大学工学部卒業、1989年同大学院工学研究科修士課程修了。

同年岡山大学工学部情報工学科助手、

1998年 京都大学情報学研究科助教授、2007年より准教授、

2014年 同大学学際融合教育研究推進センター

（デザイン学ユニット）特定教授。博士（工学）。

著書に『不便から生まれるデザイン』（化学同人、2011年）がある。

計測自動制御学会論文賞（1991、2003、2013年）

ヒューマンインタフェース学会論文賞（2010年）

自動車技術会論文賞（2014年）受賞。